

2027年3月期（第17期） 第1四半期決算説明資料

2026.7.24

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡伸

2027年1月1日、

テクノホライゾン株式会社は、

ELMO株式会社になります。

光をひとつに、未来へ。

各事業が現場と向き合い、技術を磨きながら、
宿してきた光を、ひとつに束ねます。

映像&IT、そしてロボティクス。その新たな旗印が、**ELMO**です。

私たちは、その光で社会を照らし、まだ見ぬ可能性をかたちにし、
誰かの一步をより力強く後押ししていきます。

映像とロボティクスに、**生成AI・フィジカルAI**を
掛け合わせ、私たちは3つの現場の未来をつくる。

学び

夢中になれる、
学びを

生成AIや**ICT**で、
学びをもっと自由に、もっとおもしろく。

ものづくり

つくる楽しさを、
もっと自由に

フィジカルAIと**自動化技術**で、
ものづくりの未来をひらく。

暮らし

毎日に、
小さな感動を

映像・センシングや**エッジAI**で、
一歩先の安心と快適を。

この未来をつくるために、私たちはひとつになる。その名が、**ELMO**。

目次

1. 2027年3月期（第17期）第1四半期決算概要
2. 2027年3月期（第17期）通期業績予想
3. トピックス

1. 2027年3月期（第17期） 第1四半期決算概要

(1) 2026年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2026年 3月期 第1四半期	2027年 3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	10,469	13,334	+ 2,865	27.4%
映像&IT	7,801	10,645	+ 2,843	36.4%
ロボティクス	2,667	2,689	+ 21	0.8%
営業利益	21	501	+ 479	2,232.5%
経常利益	△ 46	613	+ 660	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 138	444	+ 583	—

前年同四半期比
増収増益

増収要因：

- ・「映像&IT事業」増収

増益要因：

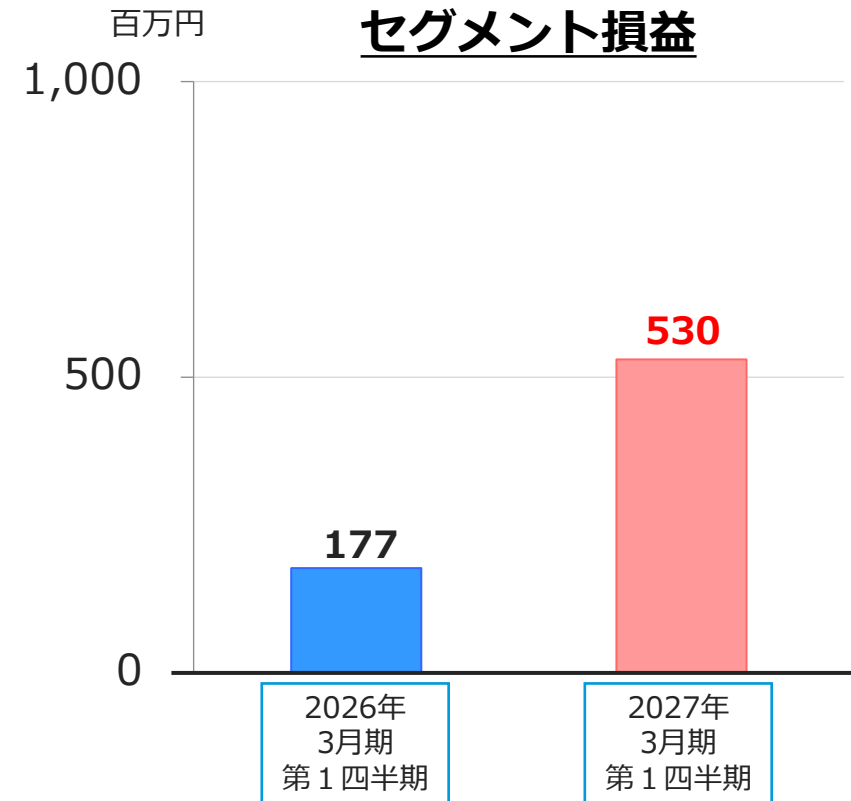
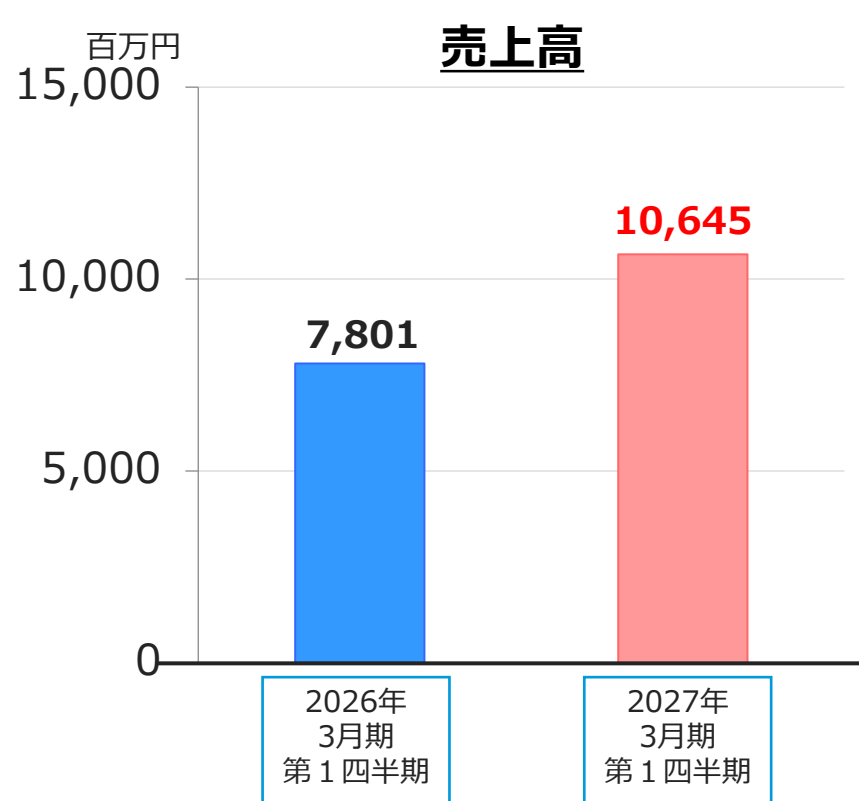
- 【映像&IT】
 - ・ Pacific Tech Pte.Ltd.及びESCO Pte.Ltd.の業績が好調

- 【ロボティクス】
 - ・ 粗利益率の改善
(採算性の高い製品へのシフトを継続して推進)

【共通】

- ・ 販管費の削減
- ・ 営業外収益（為替差益）計上

(2) 映像 & IT 事業セグメントの損益



◇ポイント◇ 海外事業の成長

Pacific Tech Pte.Ltd. (サイバーセキュリティ事業)

- ・情報セキュリティ市場の着実な拡大を的確に捉え、収益拡大に貢献

ESCO Pte. Ltd. (オフィスソリューション事業、HM事業)

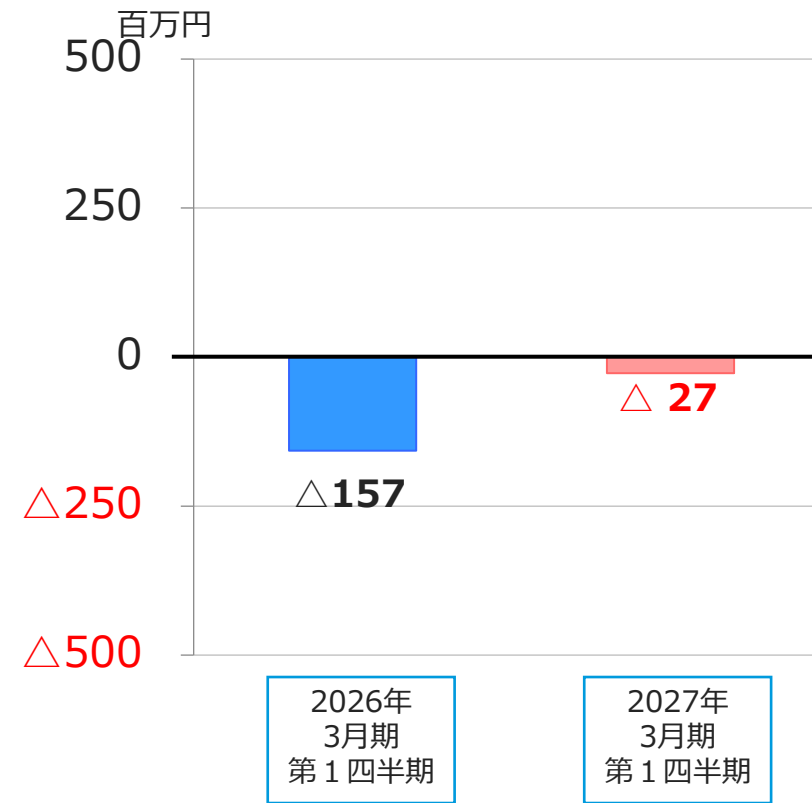
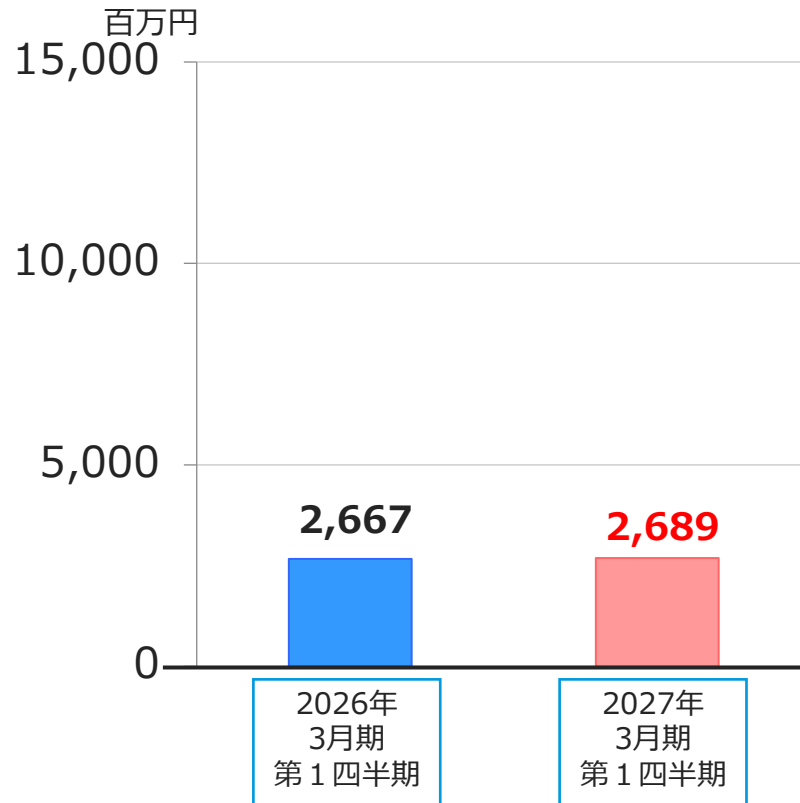
オフィスソリューション事業

- ・各国のオフィス需要に支えられ、業績を拡大

HM(Hostile Mitigation: テロ対策緩和)事業

- ・世界的なデータセンター建設ブームを追い風に、受注が順調

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



◇ポイント◇ フィジカルA I分野での競争力強化

- ・カメラ技術、画像処理技術、制御技術といったコア技術を一層強化
- ・フィジカルA I分野における当社の製品ラインナップの拡充および競争力強化を図る

国内

- ・光学ユニットの増産、光学モジュールの新機種の立ち上げ
- ・産業ロボット向けモータードライバのカスタム開発受注が増加

中国

- ・現地ニーズに対応すべく、製品開発および販売戦略の見直し
- ・収益基盤の再構築と収益向上に注力

(4) 2027年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	2026年 3月期	2027年 3月期 第1四半期	増減
流動資産	30,731	31,079	+ 347
固定資産	8,680	8,820	+ 140
資産合計	39,412	39,899	+487
流動負債	23,562	24,319	+ 757
固定負債	3,572	3,143	△ 429
負債合計	27,134	27,462	+328
株主資本	9,597	9,637	+ 40
その他の包括利益合計額	2,680	2,799	+ 118
純資産合計	12,277	12,436	+159
負債純資産合計	39,412	39,899	+487
自己資本比率	31.2%	31.2%	0.0pt

流動資産

- ・現金及び預金 : +1,120百万円
- ・受取手形及び売掛金及び契約資産 : △1,627百万円
- ・電子記録債権 : +86百万円
- ・商品及び製品 : +644百万円
- ・仕掛品 : +392百万円
- ・原材料及び貯蔵品 : +229百万円

固定資産

- ・有形固定資産 : +85百万円
- ・無形固定資産 : △77百万円
- ・投資その他の資産 : +132百万円

流動負債

- ・支払手形及び買掛金 : △1,158百万円
- ・電子記録債務 : +68百万円
- ・短期借入金 : +1,855百万円
- ・一年以内返済予定の長期借入金 : △88百万円
- ・未払法人税等 : △371百万円
- ・賞与引当金 : △129百万円

固定負債

- ・長期借入金 : △418百万円

純資産

- ・利益剰余金 : +40百万円
- ・為替換算調整勘定 : +112百万円

2. 2027年3月期（第17期）通期業績予想

(1) 2027年3月期 業績予想（前期比較）

単位：百万円

	2026年 3月期 (実績)	2027年 3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	51,380	55,000	+3,620	7.0%
営業利益	2,332	3,000	+668	28.6%
経常利益	2,886	2,750	△ 136	-4.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,462	1,700	△ 762	-31.0%

着実な成長

増収要因

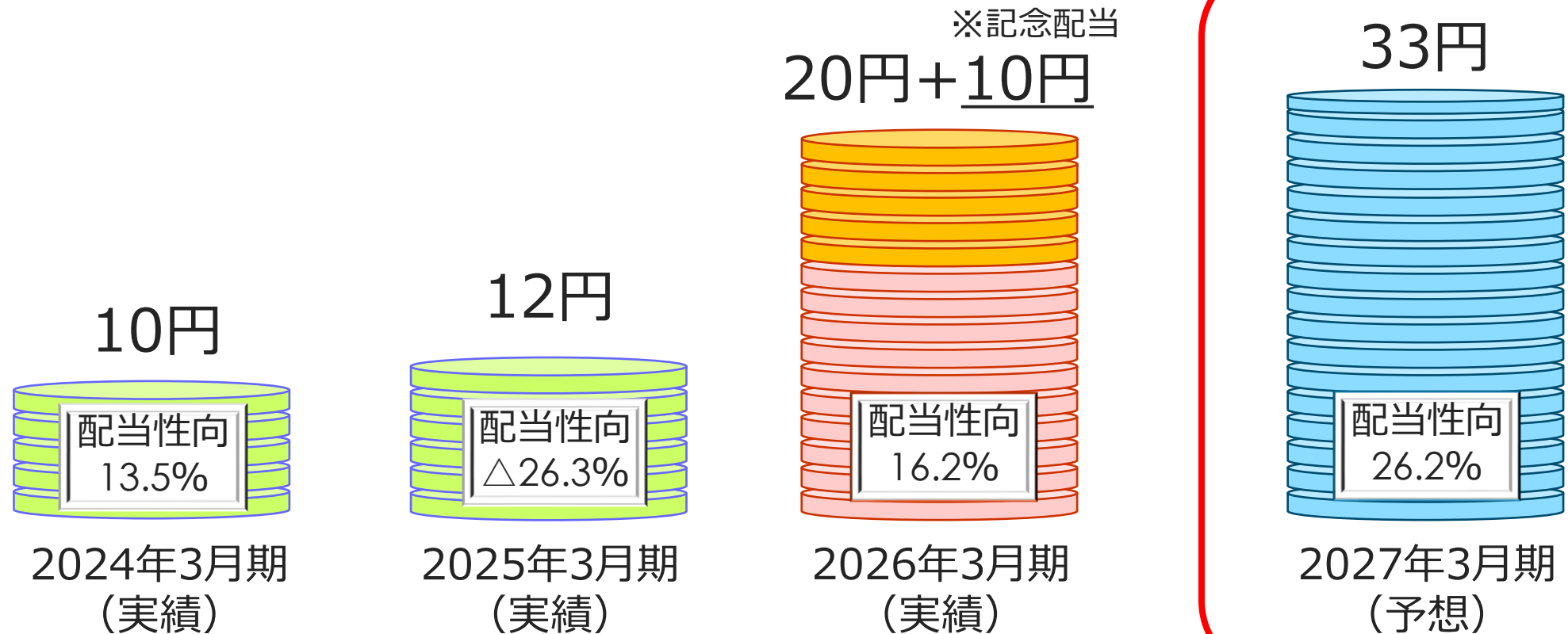
- ・買収先企業とのシナジー追求
- ・既存事業の底上げ

減益要因

- ・営業外収益(為替差益)の減少

(2) 2027年3月期 配当予想

年間配当予想：年間**1株あたり33円**



3. トピックス

(1) 私たちが目指すもの

私たちが掲げるミッションと目指すべき未来

- グローバルな人と社会に貢献すること、すなわち、映像&ITとロボティクスが生み出す、人と技術が共に生きる未来。そしてその先にある、「人々が安心して学び、働き、そして暮らしていける、持続可能な社会」の実現です。従来の「教育」「安全・生活」「医療」「FA」といった事業領域の枠組みを、少し形をかえて、「教育ICT」「企業・自治体DX」「FAロボット」「ビジョンシステム」に組み替えました。

■「教育ICT」では

多様な子どもたち一人ひとりに合わせた学びが求められる中、ICT機器や学習支援システムを通じて、教育現場の質の向上を支援し、未来の人材育成を支えます。

■「企業・自治体DX」では

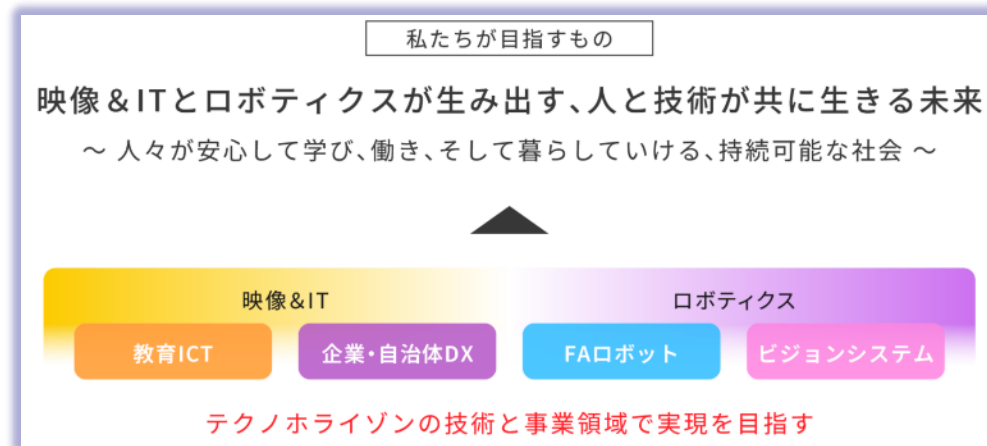
仕事の価値を高め、効率的かつ安全な運営や、サービスのクオリティ向上に貢献します。

■「FAロボット」が活躍する製造現場では

高い品質と生産性の両立が求められ、精密制御や検査技術を活用することで、課題解決に取り組みます。

■「ビジョンシステム」分野では

人の目では捉えきれない情報を映像技術とAIで可視化し、迅速かつ正確な判断を支援することで、より良い社会インフラを支えます。



(2) テクノホライゾンの動き

テクノホライゾングループは、「ELMO」ブランドを核とした新たな成長フェーズへ

➤ テクノホライゾングループは、中長期的な企業価値向上に向け、ブランド価値のさらなる向上とグループ経営の最適化を目的として、大規模な組織再編を推進します。

- 

2027年1月1日、テクノホライゾン株式会社は「**ELMO株式会社**」へ商号変更を行い、長年培ってきた「ELMO」ブランドのもと、「映像&IT」と「ロボティクス」分野でグループブランドの強化を図ります。
- 

2027年4月1日には、世界で初めて「自動はんだ付け装置」を発明したメーカーであるアポロ精工株式会社を吸収合併し、技術・人材・経営資源の統合による業務の合理化・効率化と収益力の強化を図ることにより、ものづくり領域における競争力を一段と強化します。
- 

ウェルダンシステム株式会社を存続会社として、株式会社CYBER DREAM、ユニバースケープ株式会社 及び 株式会社MeTaを統合し、新会社「**ELMO X 株式会社**」として再編することで、教育・IT・DX領域におけるサービス基盤を強化し、グループシナジーの最大化を推進してまいります。

ブランド、技術、組織を再構築することで、次世代の成長基盤を確立し、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

(2) テクノホライゾンの動き



当社連結子会社による株式取得（孫会社化）

- 当社の連結子会社であるESCO Pte. Ltd. がインドネシアのジャカルタを拠点にAVシステムのインテグレーションなど高度な統合技術ソリューションを提供するPT EfforiProspero Solusiの全株式を取得し、子会社化（当社の孫会社化）しました。

成長著しいインドネシア市場のDX需要を確実に取り込み、アジア全域を統括するクロスボーダー案件の実行力を強固にし、グループとして更なる持続的な成長を目指します。

対象会社の概要

(1) 名称	PT Effori Prospero Solusi
(2) 所在地	インドネシア、ジャカルタ
(3) 代表者の役職・氏名	President Ricky Osmond
(4) 事業内容	AVシステム等を用いた統合技術ソリューションの提供
(5) 資本金	約18百万円
(6) 設立年月日	2020年3月4日
(7) 大株主及び持株比率	Ricky Osmond (50.00%) 他3名

株式取得日、株式取得前後の所有株式数及び所有割合

株式取得予定日	2026年7月上旬
取得前の所有株式数及び所有割合	0株 (0.00%)
取得後の所有株式数及び所有割合	2,000株 (100.00%)



「テクノホライゾン共創ミートアップ EXPO」 — 次のビジネスは、ここで形になる — を開催

- 2026年4月23日、世界最大級のグローバルピッチコンテスト・カンファレンス「スタートアップワールドカップ2026名古屋予選」の連動イベントとして、スタートアップ企業との共創を促進する展示イベント「テクノホライゾン共創ミートアップ EXPO」— 次のビジネスは、ここで形になる — を開催しました。



(3) 製品・サービス情報



ベストセラー書画カメラ「みエルモン」シリーズ の新製品「L-12S」を発売

- 2026年6月、書画カメラ「みエルモン」シリーズの新製品「L-12S」を発売しました。本製品は、シリーズで継承されてきた、さまざまな角度に動かせるアームや片手で操作できるズーム・フォーカス機能など、利便性と必要十分な性能を備えつつ、有線接続での利用に特化することで、よりシンプルで使いやすく、導入コストを抑えた入門モデルです。

書画カメラは、遅延のない安定した有線接続により、教育現場での実験や授業のリアルタイムな描写を可能にします。さらに、行政のデジタル化（DX）などのビジネスシーンでも、正確で迅速な情報共有ツールとして今後の活躍が期待されています。



「ミマモルメ」と「スクールマスターZeus」 が連携開始

- 2026年5月、株式会社ミマモルメが提供する学校向け「欠席・遅刻等受付機能」と、ウェルダンシステムが提供する私立小中高校向けトータル校務システム「スクールマスターZeus」とのシステム連携を開始しました。

本連携により、保護者から「ミマモルメ」に届いた欠席・遅刻連絡データを、「スクールマスターZeus」の出欠簿へ簡単なボタン操作のみで一括反映できるようになりました。これにより、全国の学校現場が抱える朝の多忙な業務負担の軽減に貢献します。



私立小中高校向けトータル校務システム
スクールマスターZeus



(3) 製品・サービス情報



AIで通知表や指導要録の所見作成を支援 「所見作成サポート AI」を公開

- 2026年5月、通知表や指導要録の「所見コメント」を効率よく作成できるAIシステム「所見作成サポートAI」の提供を開始しました。テスト導入では、利用した先生の90%が「時短効果を実感」、100%が「他の先生にも勧めたい」と回答しています。

先生が児童・生徒の様子をメモ感覚で入力すると、AIが所見文の下書きを自動生成します。文字数指定や学校ごとの文章ルール設定にも対応しており、先生の文章作成負担を軽減できます。



通知表や要録の作成を効率化 **所見作成サポートAI**

(4) 海外子会社情報



ESCO Pte. Ltd. グループ 受賞 / 認定

- ✓ ESCO Pte. Ltd. が、2026年のシンガポールとマレーシア両部門でロジクールのプリンシパルパートナーに選ばれました。
- ✓ COLCOM が、A&Tの公式パートナーとして認定されました。
- ✓ ESCO Pte. Ltd. Philippinesが、サムスンのブランドとビジネス価値の拡大における重要なパートナーとしてプレジデントサークル賞を受賞しました。
- ✓ ESCO ファミリーが、ロジクール・パートナー・コネクト・プログラム2026で複数の賞を受賞しました。
 - ★ 年間最優秀パートナー賞
 - ★ ライジングスター・エリート
 - ★ 地域優秀賞
- ✓ ESCO (Thailand) Ltd が、PLANARの2025年トップセールスパートナータイランド賞を受賞しました。
- ✓ COLCOM が、Crestron Electronics のエリートパートナーとして認定されました。

(5) グローバル化を加速

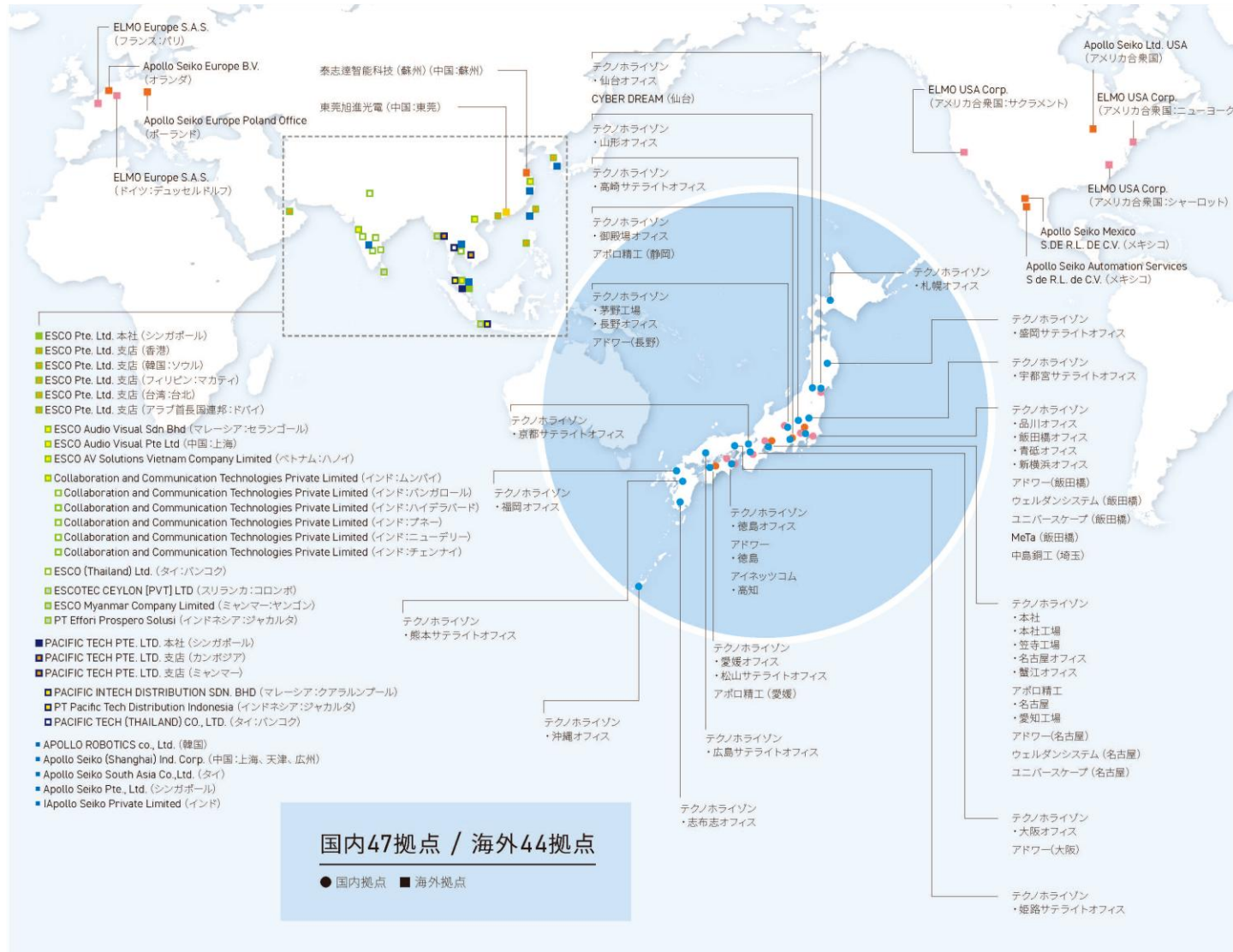
国内47拠点
海外44拠点

多様性に満ちた人材で
グローバルなニーズに応える



課題感

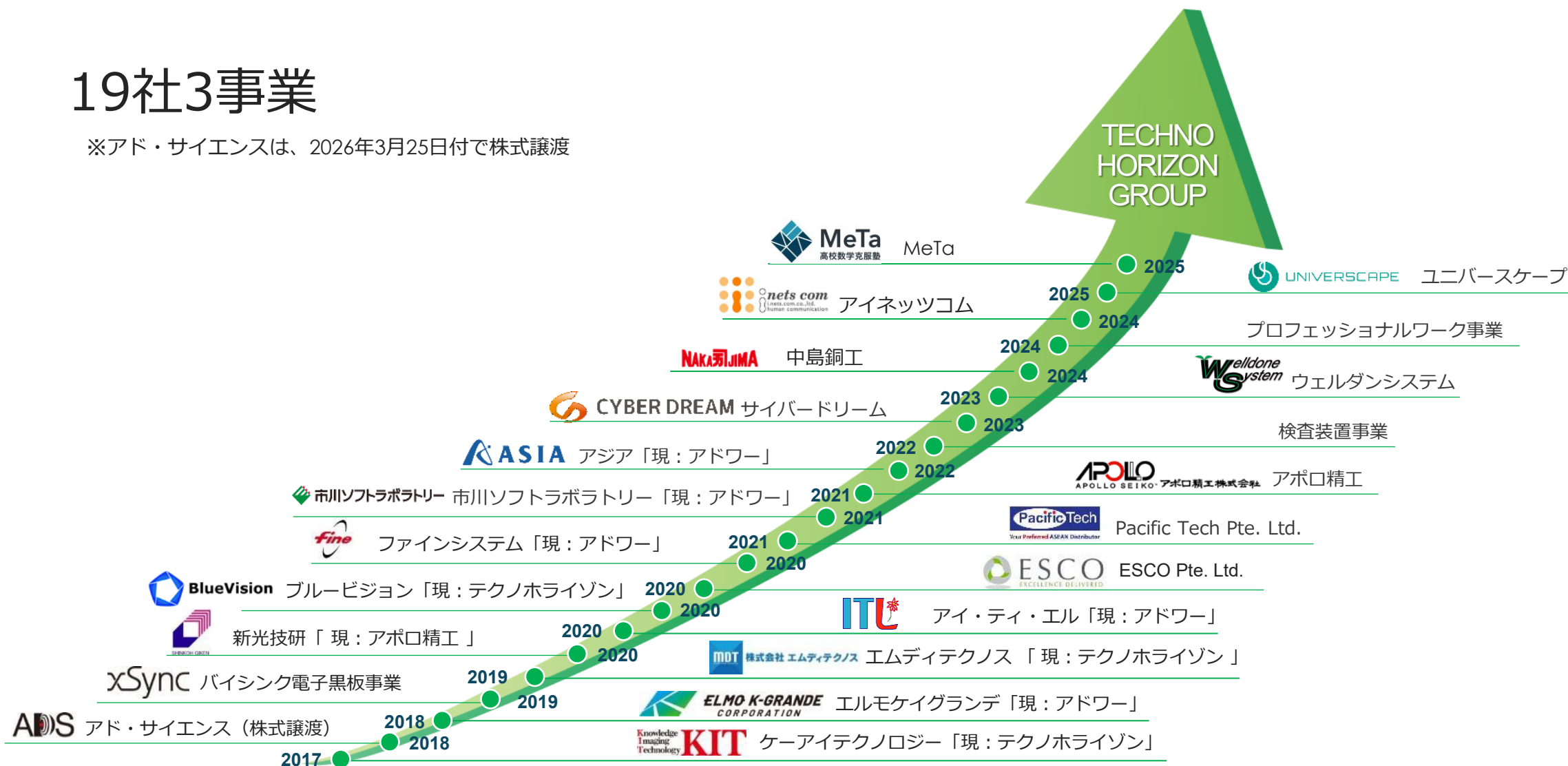
- ★ 人材確保・育成
- ★ コーポレート・ガバナンス



(6) 豊富なM & A実績

19社3事業

※アド・サイエンスは、2026年3月25日付で株式譲渡



将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R 担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO
APOLLO SEIKO

TECHNO HORIZON GROUP

 BlueVision

 ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

 Pacific Tech

APOLLO
APOLLO SEIKO


Adwaa

 CYBER DREAM

 Welldone
system

NAKAJIMA

 nets.com
i.nets.com.co.,ltd.
human communication

 UNIVERSCAPE

 MeTa
高校数学克服塾